

# 平成26年度第3回中国四国地域認定事業計画一覧(平成27年2月27日)

中国四国農政局経営・事業支援部事業戦略課

No.	事業名	事業の概要	申請者	都道府県	市町村
1	自社ブランド「天美卵」と地域生産者との連携でつくる新商品開発と農家レストラン事業	「天美卵」を生産する同社は、平成24年度に総合化事業計画の認定を受け新商品を開発し、直売所兼カフェ「ココガーデン」の来客数を順調に伸ばしている。(年間約10万人) 今回、来客者から要望の高い、養鶏農家ならではのメニュー(オムライス、親子丼等)を、地元農家の食材を活用しつつ提供する「農家レストラン」をオープンすることで、一層の経営向上と地域活性化を目指す。	有限会社 ひよこカンパニー	鳥取県	八頭郡 八頭町
2	岡山の白桃を活用したスイーツの開発及び販売	果物を買いに来る客から、岡山の白桃を使ったスイーツへのニーズが多く寄せられた。 そこで、桃は規格外品の発生率が高いこともあり、これらを活用した商品を、商品企画専門家の意見を得ながら開発し、「岡山白桃パイ」と「岡山ロールケーキ」を完成させた。 今後、商品化と主力商品としての通年販売を図る。	有限会社 桃茂實苑	岡山県	赤磐市
3	自農園で採れた5種類のぶどうを活用した加工品の製造販売	5種類の豊富なぶどうを活用し、丸ごと果肉を盛付けた「ピオーネスムージ」やセミドライぶどうの「チョココーティングスイーツ」など、多様な試作品を作成。 既存の来店客やインターネット等を通じた通年販売で、収益向上を図る。	竹原一郎	岡山県	岡山市
4	自社生産のブランドトマト「アイミィ」を使った加工品の開発と販売	日照条件に恵まれた、島嶼部の地域特性を生かして栽培するトマト(品種:アナメイ)を、広島県の県産応援登録を受け、「アイミィトマト」としてブランド化。 この「アイミィトマト」を活用し、高級志向に合うトマトジュースを開発し、贈答用として広島県・瀬戸内をアピールするとともに、売上げ向上と経営の安定を目指す。	有限会社 グリーン ファーム沖美	広島県	江田島市
5	津和野産椎茸と萩産農産物等を活用した地域資源コラボ商品開発及び販売	山口市と島根県津和野町でグループホーム事業を展開している同社は、平成24年から津和野町で遊休倉庫を活用し菌床椎茸の栽培を開始。 観光では、萩・津和野がコラボしているが、食品ではしていないことに着目し、自社椎茸と萩産の辛子や酒粕、長門ゆずきちを副材料とした「辛子漬け」「粕漬け」「酢漬け」のコラボ商品作りに取り組む。	有限会社 はるひ福祉 サービス	山口県	山口市
6	自社で生産する養殖トラフグ、ヒラメを活用した加工品の開発、製造及び販路開拓	トラフグ等の養殖事業は、長門市が平成25年に策定した「ながと成長戦略行動計画」に位置付けられており、後継者不在等の課題を抱える事業者を統合し新会社を設立。安定的な生産・加工・販売体制を確立する。 トラフグの身欠き加工(皮と有毒部位除去)、ヒラメのフィーレ加工(5枚おろし)を行い高付加価値化を図り、既存の卸売や首都圏への販路拡大を目指す。	長州ながと水産 株式会社	山口県	長門市

No.	事業名	事業の概要	申請者	都道府県	市町村
7	自社で生産するサツマイモを活用した加工食品の開発・製造・販売	平成24年に建築業から農業参入し、ブロッコリーを栽培。その後、自社ブランド（商標登録）のサツマイモ「弘法の恵（安納芋）」、「夢の芋（紅はるか）」を生産。 サツマイモの生産が安定してきたことから、今回、洋菓子店と共同で加工品（ペースト・焼き菓子等）の開発に着手し、所得の向上と雇用の安定を図る。	さんわ農夢株式会社	香川県	三豊市
8	自社で生産する豚肉を使用した加工食品の開発・製造・販売と精肉直販事業への取組	同社は、米を配合した飼料で育てる養豚（米豚）事業と食肉加工等の受託事業を展開している。 今回、これまでの受託加工に加え、自社の米豚を活用した、惣菜等のオリジナル商品の開発に取り組むとともに、精肉についても、新たに直営店舗を設け、自ら販売し売上げ向上を図る。	株式会社 フジムラフーズ	香川県	観音寺市
9	伊吹島沖で漁獲したいわしを活用した加工食品の開発・製造・販売	主に、出し汁原料の「いりこ」について、イベント等の場で消費者から、つまみ等でも提供して欲しいとの要望が多かったことを踏まえ、いりこの「おつまみ」、「ふりかけ」や「いわしのオイル漬け」の商品開発に取組み、魚価変動に影響されにくい事業形態での経営安定を目指す。	大平 保利	香川県	三豊市
10	自ら生産するニンニクを活用した加工食品の開発・製造・販売	新規就農から4年。ニンニクを中心に栽培面積を拡大してきたが、生産量増加にともなう販路拡大と規格外品処理が課題であった。 取引バイヤーから、輸入ニンニク減少に伴う国産ニンニクの需要が増加傾向とのアドバイスを受け、微生物資材や有機肥料、減農薬栽培で生産したニンニクの加工品（チップ、パウダー、黒ニンニク等）による経営安定を目指す。	高橋 光男	香川県	丸亀市
11	自社栽培農産物を使用したカフェメニューおよび加工品開発事業	同社は、植木や花苗を栽培し、自社施設「メリーガーデン」で直売しているが、夏場は来客数が落ち込む。 このため、マンゴーやブルーベリー、パッションフルーツを新たに栽培し、マンゴーかき氷や焼きマンゴー等を開発し、夏季に、同施設内のカフェで提供することで、夏場の来客数の増加と売上げ拡大を図る。	株式会社 岡宗農園	高知県	安芸市
12	土佐山産の有機JAS認証ショウガ、ユズを使ったスイーツの加工・販売事業	同会社の農業生産部門では、有機JAS認証ショウガを活用し、ジンジャーエール等の加工・販売に取り組んできた。 今回、新たに、同ショウガ及びユズ（慣行栽培）を原材料に、ショコラボール等のスイーツを開発し、直営店舗を開設するとともに、「オーベルジュ土佐山」（公設民営ホテル）をアンテナショップとして販売展開を図る。	夢産地とさやま 開発公社	高知県	高知市